



チェックポイントにカードを重ねて通過を記録

雪上オリエンテーリング

スキーオリエンテーリング安比大会2020

スキーオリエンテーリングの安比大会2020は1月26日、安比高原スキー場周辺で開かれ、選手41人がゴールを目指して雪山を駆け巡りました。

競技は地図上のチェックポイントを順に回るオリエンテーリングと、クロスカントリースキーを組み合わせ合わせたもの。冷静な判断力と持久力が試されます。

前日には、地図の読み取り方やスキー操作が学べる初心者体験会を開催。面白さを体験してもらうことで、競技人口の拡大を図っています。

厳寒の造形崩れるも圧巻

自然観察会・七滝氷瀑ツアー

七滝氷瀑ツアーは2月16日、県民の森で開かれ、スノーシューを履いた31人の参加者が冬の静かな森を堪能しながら、七滝の氷瀑を目指しました。

ツアーは毎年2月に3回開かれ、同日はその最終回。今年は暖かい日が続いたため、早くに一部が崩落しましたが、参加者は残った氷瀑と水しぶきを間近で観察し、その迫力に感動の声を上げました。

七滝は、岩手山から流れる焼切沢の滝。厳冬期に凍り付くと薄青色の幻想的な表情を浮かべます。



夏とは違う表情を見せる七滝を間近で観察

災害発生時の強い味方

電動車両などの支援に関する災害協定締結

市と岩手三菱自動車販売、三菱自動車工業の2社は2月7日、市役所多目的ホール棟で、災害時における電動車両などの支援に関する協定を結びました。

締結式終了後は、アウトランダーPHEVで発電した電気を大容量の駆動用バッテリーに蓄え、電子レンジなどに給電するデモンストレーションを行いました。

同協定により、災害時の迅速な初動対応が可能になり、無償で借り受けした車は、物資・人員の輸送や電気を必要とする機器への給電に活用されます。



協定を結んだ3者の代表とアウトランダーPHEV

団結力で悲願の初優勝

世界少年相撲大会・第10回白鵬杯

世界14カ国の相撲少年約1,100人が集い争う第10回白鵬杯は2月2日、両国国技館で開かれ、寺田道場Aチームが団体戦で初優勝を果たしました。

団体戦のメンバーは、岩崎想矢君(大更小5年)、工藤琉誠君(同6年)のほか盛岡市と九戸村の小中学生を含む5人。予選から決勝まで計7戦を制し、出場した142チームの頂点に立ちました。中堅を務めた工藤君は「次は個人でも入賞できるように、中学に進んでも相撲を続けたい」と胸を張りました。



寺田道場Aのメンバーが市役所に訪れて優勝を報告



箱詰めしたイチゴを手にする児玉則浩社長(中央)と関係者

熱水で育てたイチゴ出荷

IoT次世代施設園芸「ゆけむりいちご」初出荷

MOVIMASと市の包括連携協定締結を経て設立された八幡平スマートファームは1月21日、地熱を利用して栽培した「ゆけむりいちご」を初出荷しました。

バジルを栽培している高石野の熱水ハウスで育てたイチゴは、外国人訪日旅行の企画商品として、世界文化遺産に登録された山梨県の忍野八海へ出荷。今後は、イチゴを活用した観光農園化を進めていながら、イチゴとバジルの栽培を通じて、農業・観光の両分野で地域振興に取り組んでいきます。



手を合わせる(左から)大西社長、田村正彦市長、谷津代表

すなっぶギャラリー



1月12日で100歳を迎えられた立柳力ネさん=上野駄=これからもお元気で(1月15日、自宅)



遠藤寿彦さんに市防犯隊員の辞令を交付。任期は令和3年3月31日まで(2月3日、市役所)



ひなぎく幼稚園高橋雅子副園長が文部科学大臣表彰に選出。創造力を育む教育活動を評価(2月20日、同園)



市消防団第22分団に消防ポンプ自動車引き渡されました(1月29日、市役所前)



八遭隊と岩手署員が行方不明者を想定した救助や搬送の訓練を2日間実施(2月1日、岩手山山頂)